

事業概要シート

施策	0702	障がい者の社会参加の促進	≪≫の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く	
事業名	社会参加促進事業	拡充	予算額	3,414 千円
事業期間	昭和53年 ~		≪ 3,284 ≫千円	
根拠法令要綱等	障害者総合支援法、地域生活支援事業実施要綱	財源内訳	国庫支出金	790 千円
			県支出金	395 千円
			地方債	0 千円
			その他	0 千円
			一般財源	2,229 千円

【事業の目的・概要・対象】

障がい者の社会参加が妨げられている要因（情報獲得手段等）を取り除き、障がい者の社会参加を促進するため、「声の市政だより発行事業」、「要約筆記者養成事業」、「音訳ボランティア養成事業」、「手話奉仕員養成事業」など各種事業を実施する。

対象者は、障がいにより社会参加が困難な者及び障がい者の社会参加活動への協力者、支援者。

【事業拡充の内容】

※各種養成事業（手話奉仕員養成講座・要約筆記者養成講座・音訳ボランティア養成講座）について、受講者数の増加を図り、支援者に繋げるため、受講者にゆでびを300ポイント付与する。

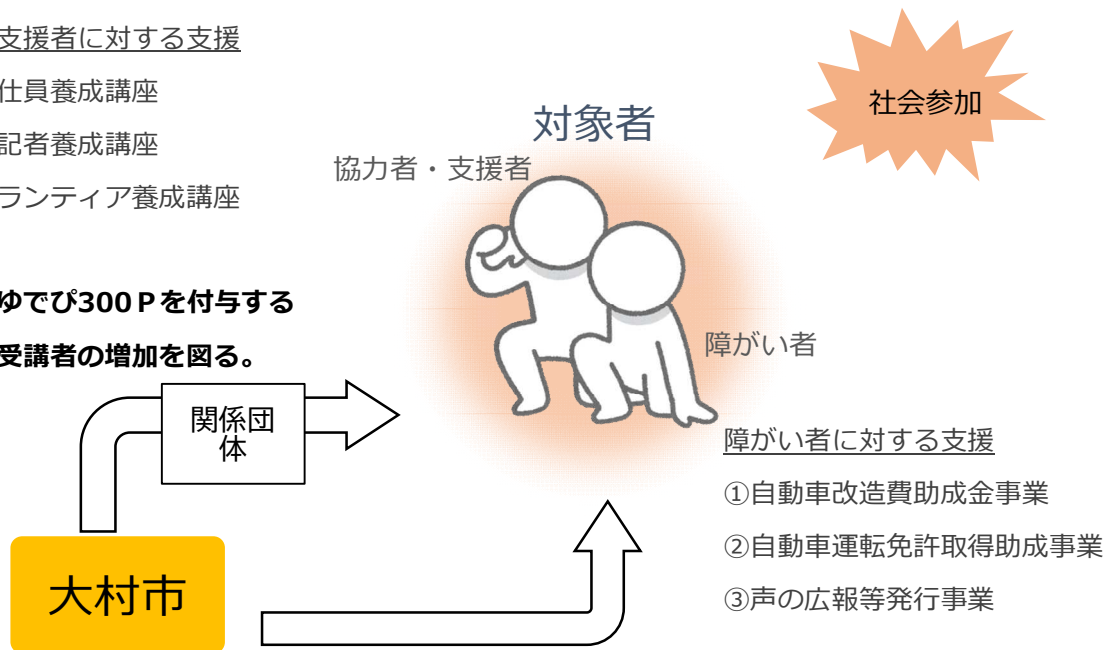
協力者・支援者に対する支援

- ①手話奉仕員養成講座
- ②要約筆記者養成講座
- ③音訳ボランティア養成講座

【拡充】

受講者にゆでび300Pを付与する

ことで、受講者の増加を図る。



【背景】

社会には様々なバリア（障壁）が存在し、視覚障がい者や聴覚障がい者、身体障がい者等に対してさまざまな支援を行うことで、社会参加活動の機会を促進することが求められている。

担当課	福祉保健部障がい福祉課	課長	前川 靖彦
担当者	村岡 愛佳	問合せ先	0957-20-7306

事業概要シート

【活動指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	事業実施数	計画値	事業	6	6	6	6	6
②		計画値						

【成果指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	延べ利用者数	計画値	人	95	188	188	188	188
②		計画値						

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計
事業費	3,598	2,718	3,284	3,414	3,414	3,414	19,842
国庫支出金	2,052	748	819	790	790	790	5,989
県支出金	239	375	410	395	395	395	2,209
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,307	1,595	2,055	2,229	2,229	2,229	11,644
人件費	553	622	2,156	622	622	622	5,196
職員(人)	0.07人	0.08人	0.28人	0.08人	0.08人	0.08人	0.67人
時間外勤務(h)	22h	20h	60h	20h	20h	20h	162h
会計年度任用職員(人)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	4,151	3,340	5,440	4,036	3,961	3,961	24,888

妥当性 (市の関与)	障害者総合支援法における地域生活支援事業は、地域のニーズに合った支援を市町村が提供する事業であり、市の関与が妥当である。
有効性 (施策貢献度)	さまざまな支援を行うことで、障がい者の社会参加の促進が図られており有効な事業である。
効率性 (コスト)	自動車運転免許取得事業及び自動車改造助成事業については、所得制限及び助成金額の上限を設定し効率的に行っている。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	一次評価のとおり